



祐介の目

No.151

大田祐介 (福山市議会議員)

作戦に参加してイギリスの東洋の拠点・シンガポールを占領。さらにニューギニアに転戦して、統治していたオーストラリアと戦い、最後はフィリピンのレイテ島でマッカーサー率いるアメリカと戦った。それぞれの国民は自国と日本との戦いの歴史を知っている。それらの国々の愛好家が緑町公園に集まるということは、G7サミットの首脳が平和記念公園に参集した事と同じくらい意義深いし、歴史の縁が繋がったと感ずる。

今年のばら祭は来年の世界バラ会議の前哨戦・プレ大会のような位置付けであった。世界大会は、世界のバラ愛好家の交流と情報交換の場であるが、昨年のG7広島サミットにおいて各国首脳が世界の平和と秩序について議論したように、世界バラ会議福山大会においても「平和」という観点から意義ある会議にしてもらいたいと念願している。

なぜなら、メイン会場となる緑町公園にはかつて歩兵第41連隊の兵営があったが、41連隊が世界を相手に戦った歴史をご存知だろうか。この地から多くの若者が出征し、約七千人が戦死した歴史の延長上に福山市の発展はある。古くは日露戦争におけるロシア、昭和12年の支那事変から中国と戦い、南進して昭和15年に現在のベトナム、当時はフランス領インドシナに武力進駐(仏印進駐)してフランスと戦った。昭和16年12月、マレー

昭和20年8月8日、福山市はアメリカの無差別爆撃より市街地の約8割を焼失し355人が犠牲となった。これがばら公園のルーツであることは知られているが、福山市民は41連隊の歴史をほとんど知らないのではないか。できれば私の著書・永遠の四一(啓文社)を読んでいただき、多くの市民が歴史を勉強した上で、ローズマインドの精神でおもてなしをして欲しい。

歴史は繰り返すと言いが、前回の戦争を忘れた頃に次の戦争が起こるとも言われている。私は戦争の歴史を学び伝えることが、現在の戦争を止め、将来の戦争を抑止することに繋がると考えている。